

とやま

県広報とやま

2001

7
月号

No.385

富山県

特集

科学技術を楽しもう！



第5回ふるさとイベント大賞の部門賞を受賞し、今年はさらに気合いが入る「源平火牛まつり」実行委員会のメンバーの皆さん。

5月

16日

みんなでつくる新世紀の富山県 県民新世紀フォーラム

■二十一世紀初頭の県づくりの指針となる新しい総合計画「富山県民新世紀計画」を広く紹介する「県民新世紀フォーラム」が、五月十六日、富山国際会議場で開催されました。

■中沖知事が、『水と緑といのちが輝く 元気とやま』をめざ



計画の概要が紹介された県民新世紀フォーラム

5月

24日

モノづくり産業の新拠点整備へ 小矢部フロンティアパーク起工式

■五月二十四日、地域振興整備公団が造成する企業団地「小矢部フロンティアパーク」の起工式が、小矢部市のクロスランドおやべで行われました。

して」と題して講演し、五つの立県構想や県民参加の挑戦目標など、計画の概要について説明しました。知事は、「県づくりの主役は県民の皆さんです。みんなで力を合わせて、元気な富山県の創造にチャレンジしたい」と約八百名の参加者に呼びかけました。

■また、計画の策定に携った総合開発審議会の四人の委員から、計画の実行や県民参画の重要性について意見発表が行われました。

●問合せ
県庁総合政策課
☎ 076(444)9609



起工式では産業の新拠点を祝った

■中沖知事、大家小矢部市長など、関係者約百二十人が出席し、工事の無事完了を祈願しました。

■同パークは二十二・三ヘクタールを整備し、一般機械等の製造業、ソフトウェアやデザイン等のサービス業、理学・工学研究所などを入居対象とし、用地の分譲だけでなく、賃借もできるなどの新しい試みもあります。

■平成十四年度末の完成、公募を目指しており、日本海側屈指の産業集積地になることが期待されています。

●問合せ
県庁商工企画課
☎ 076(444)3244

5月

27日

十二年後の完成へ向けて、フル規格で整備 北陸新幹線 上越―富山間 起工式

■五月二十七日、北陸新幹線上越―富山間の起工式がJR富山駅南口広場で行われました。起工式では、中沖知事、森前首相、綿貫衆議会議長など、関係者約九十名が出席し、起工宣言やくわ入れなどが行われました。

■また、同日、市内ホテルで

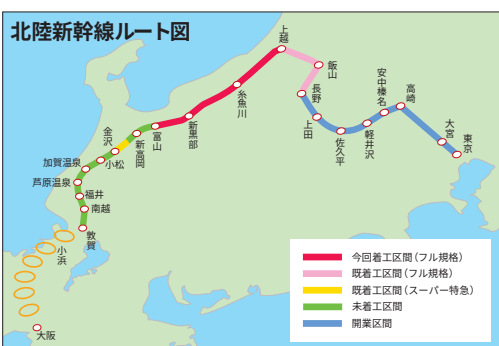


北陸新幹線起工式であいさつをする中沖知事

関係者約六百名が出席し、起工祝賀会と建設促進大会が盛大に開催されました。

■今後、上越―糸魚川、新黒部―富山の両区間がフル規格で新築工され、スーパー特急方式で建設中の糸魚川―新黒部間は、フル規格に変更のうえ建設されます。概ね十二年後の完成を目指しており、東京―富山間の所要時間は現在の三時間七分から二時間七分に短縮されます。

●問合せ
県庁新幹線建設課
☎ 076(444)3124





CONTENTS 目次

TOPICS【トピックス】	1
県政の動き／県ナビとやま	2
特 集	3
科学技術を楽しもう!	
CLOSE UP【クローズアップ】	7
“演劇の利賀” 21世紀への飛躍に向けて —今年も利賀が熱い—	
とやま感動案内	9
県立近代美術館 & ふるさとギャラリー	
とやまのやる気・元気	11
「源平火牛まつり2000」実行委員長 屋敷 吉信さん	
インフォメーション	12
県政ミニガイド	13
行ってみよう情報	14
とやま音のある風景	15
ダム湖にこだまするオアズマンのかけ声 [細入村・大沢野町]	

県政の動き

(5/11～6/15)



- 5月15日** 平成13年度「とやま 賞」贈呈式
- 16日** 県民新世紀フォーラム
- 19日** 能越自動車道氷見IC(仮称)ー高岡北IC(仮称)起工式
- 20日** 第1回県障害者スポーツ大会
- 24日** 小矢部フロンティアパーク起工式
- 27日** 北陸新幹線上越ー富山間起工式
- 29日** 田園空間整備事業となみ野地区推進協議会の設立総会
- 6月 4日** 県市町村合併支援連絡会議が発足
第1回元気に富山推進会議
富山ー上海プログラムチャーター便就航記念式典
- 12日** 県新世紀行政改革懇談会
- 14日** 6月定例県議会(～26日)

県の施設 ナビゲーター

県ナビ
とやま

No.2

県心の健康センターでは、心の健康づくりや精神障害者福祉の増進を目的に、次のような業務をしています。

ストレスが多い現代社会、ひとりで悩まないでお気軽にご利用ください。

- (1) 相談・診療
心の悩みや精神的な病気、不登校、引きこもりなどの相談・診療
- (2) 技術援助・技術指導
精神保健福祉関係機関等への技術的な援助・指導
- (3) 教育研修
精神保健福祉業務に従事する職員への教育研修会の開催
- (4) 精神科デイ・ケア
精神障害者のリハビリテーションの実施
- (5) 調査研究
地域精神保健福祉活動の推進等についての調査研究

県心の健康センター

心の健康づくりを進める
“こころのオアシス”です



- (6) 広報普及
精神保健福祉と精神障害についての正しい知識の普及啓発
- (7) 組織育成
関係団体の育成と活動の援助
- (8) ストレス対策事業
リラックス体験、リラックスセミナー、ストレスブックの実施



■DATA

県心の健康センター

〒939-8222 富山市蜷川459-1

☎ 076(428)1511

開所時間 月～金 午前8時30分から
午後5時まで

「こころの電話相談」 ☎ 076(428)0606

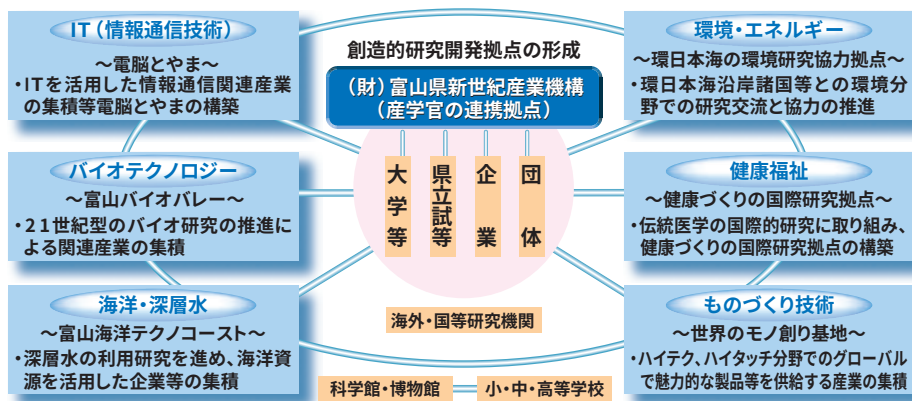
受付時間 月～金 午前9時30分から正午、午後1時から4時
(年末年始・祝祭日は休みます)

ホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/branches/1281/1281.htm>



新世紀を拓く創造県富山の形成



県富山をめざして、今後、県民一人ひとりが科学技術を創造し、生かし、学び、親しめるよう、

- ①新産業を創造する基盤づくり
- ②創造的な人材が育つ環境づくり
- ③グローバルな研究交流を促進するシステムづくり

の三つの柱に基づき、各種施策を進めることにしています。

科学技術を楽しもう！

子どもの理科離れ、科学技術への関心の低下

科学技術の進歩は、医療、産業などのさまざまな分野の発展に大きな恩恵をもたらし、私たちの暮らしを豊かにしてくれています。しかし、最近、自然体験の不足などにより、子どもの理科離れ、科学技術への関心の低下が問題となっています。

このため、次代を担う子どもたちをはじめ、多くの県民の皆さんが科学技術に触れ親しむ機会を通じて、科学技術への関心や理解を深める体験重視型の科学技術教育を進めることにしています。

とやま科学技術週間

県では今年度から、県内の小、中、高等学校の夏休みが始まる七月二十一日から八月十日までの二週間を「とやま科学技術週間」と設定し

また、本県の特徴を生かし、IT情報通信技術、バイオテクノロジー、深層水などの分野で、重点的に研究開発を進めることにしています。

今月は、その中から、創造性豊かな人材育成の観点に立ち、科学技術と生活や社会との関わりを実感できる体験型事業の取り組みを紹介しましょう。



昨年、イギリスで開かれた「クリスマス・レクチャー」で講義するウォーウィック教授(読売新聞社提供)

英国科学実験講座
クリスマス・レクチャー(二〇〇一)

メイン行事として、「英国科学実験講座 クリスマス・レクチャー二〇〇一」を開催します。この講座は、イギリスで約七十年前からクリスマス時期に行われている青少年向けの科学講座を再現するもので、本県での開催は初めてです。

今年のテーマは「二十一世紀ロボットが変わる」。世界的にも著名なウォーウィック教授(イギリス・レディング大学)が、二十一世紀の夢であるロボットについて、あつと驚く実験とパフォーマンスで分かりやすく教えてくれます。



『相撲ロボット』の製作に力が入る県立大沢野工業高校機械研究部の生徒。当日はいろいろなロボットを披露する。

また、県内の高校生や大学生などが製作したロボットを展示する「富山のロボット展(ユニークロボット大集合)」も同時開催します。

■開催日 七月二十四日(火) 二十五日(水)

■場所 富山国際会議場(富山市大手町)

■問合せ 県庁商工企画課 076(444)3245

※「英国科学実験講座」の参加者募集は締め切りました。当日の参加はできません。

※「富山のロボット展」の展示とパフォーマンスは、両日の十四時三十分から十五時三十分までの間に行います。(当日入場可・入場無料)

ました。この期間を中心に、県内の大学、県立試験研究機関、市町村などが協力・連携しながら、科学技

とやま科学技術週間の主な事業

術に関するさまざまなイベントを開催し、県民の皆さんの科学技術への理解を深めることにしています。



皆さん、「科学技術」と聞くと、なんとなく難しいものと感じていませんか。最近、子どもたちの理科離れが問題となつていますが、実際に触れてみると、結構楽しいものと気付くはず。

県では、県民だれもが気軽に科学技術に親しみ、科学技術への関心や理解を深めるため、本年度から「とやま科学技術週間」を設けました。期間は、子どもたちの夏休みがはじまる七月二十一日から八月十日まで。この期間を中心に、子どもから大人まで楽しめる催しが盛りだくさんです。

新しい科学技術プランを策定

県では、平成三年に策定した富山県科学技術プランに基づき、これまでも県民の皆さんが科学技術に親しむ機会の充実や試験研究機関・高等教育機関の整備充実などを進め、本県の科学技術の振興に努めてきました。

しかし、今後さらに豊かな県民生活を實現し、本県が大きく発展していくためには、社会や環境との調和に配慮しながら、本県の特徴を生かした科学技術を振興することが重要です。

このため、県ではこのほど、平成十三年度から二十二年度までの十年間を計画期間とする「新富山県科学技術プラン」を策定しました。この計画では、二十一世紀初頭における本県の科学技術の振興方針を示しています。そして、「新世紀を拓く創造



県内の高等専門学校、博物館、科学館などで、楽しい科学イベントが次のとおり開催されます。
さあ、この夏、親子で『科学のたから島』へ探検にでかけませんか。夏休みの自由研究のヒントが見つかるかも。

曜日	行事名等		場所	対象	問合せ先
	7月	8月			
			富山市科学文化センター	一般	076(491)2123
17(火)	プラネタリウム	ムーミン谷のオーロラ(6月9日～9月9日)	富山市科学文化センター	一般	076(491)2123
20(金)	特別展「水晶」(～9月16日)		富山市科学文化センター	一般	076(466)4187
	夏休み企画展「植物と昆虫」-食べられ、食べて、助け合う-(～8月15日)		県中央植物園	一般	076(481)1160
	企画展「雪 SNOW」(～9月24日)		立山カルデラ砂防博物館	一般	076(491)2123
21(土)	夏休み科学体験(21日、22日、28日、29日、8月4日、5日)		富山市科学文化センター	一般	076(444)3339 (県国際・日本海政策課)
	日本海学講座「富山湾・日本海の魚介類」		魚津水族館	一般	076(491)2123
	水から環境を考える2「川の水質調べ」		富山市科学文化センター	一般	076(433)9933
	おもしろ科学実験教室		北陸電力エネルギー科学館(ワンダーラボ)	小4年以上	076(491)2123
22(日)	葉脈標本をつくろう		富山市科学文化センター	小5年以上	076(493)5486
23(月)	公開講座「のぞいてみよう!液晶の不思議な世界」		富山工業高等専門学校	中学生	076(493)5486
	公開講座「楽しい材料実験」		富山工業高等専門学校	中学生	0766(86)5118
24(火)	若潮航海教室(～25日)		富山商船高等専門学校	小4年以上	076(491)2123
25(水)	風向風速計を作ろう		富山市科学文化センター	中学生	0766(86)5118
	コンピュータ・サイエンススクール(2) ～ホームページ制作～		富山商船高等専門学校	中学生	0766(86)5118
26(木)	コンピュータ・サイエンススクール(3) ～3D仮想空間～		富山商船高等専門学校	中学生	076(491)2123 (富山市科学文化センター)
	気象台へ行こう		富山地方気象台	小4年以上	076(493)5405
	ふしぎ体験 in 富山高専2001		富山工業高等専門学校	中学生	0766(86)5118
27(金)	中学生のためのロボット基礎講座		富山商船高等専門学校	一般	076(491)2123
28(土)	科学映画会「世界遺産シリーズ 白神山地-共生の森を見つめる-」(～29日)		富山市科学文化センター	親子	0765(83)1100 (朝日町生涯学習課)
	親子ロボット作り体験教室(～29日、8月5日)		なないろKAN(朝日町)	小3年以上	0766(86)5118
	親子で作るロボット入門講座(～29日)		富山商船高等専門学校	小学生以上	0765(24)4100
	ふれあい学習会「ナイトウォッチング」		魚津水族館	小学生以上	076(433)9933
	甘味実験処		北陸電力エネルギー科学館(ワンダーラボ)	小学生以上	076(491)2123
	土の中の小さな虫		富山市科学文化センター	小3年以上	076(481)1160
29(日)	フィールドウォッチング「ミクロの世界をのぞいてみよう」		立山カルデラ砂防博物館	親子	076(444)7887
	親子観察記録会 デジカメで花を撮ろう		県中央植物園	小学生以上	076(491)2123
	とやまの動物、絵しおりづくり		富山市科学文化センター	小4年以上	076(491)2123
	宇宙をさぐるシリーズ第3回「天体望遠鏡で星を探す」		富山市科学文化センター	小4～6年生	076(466)4187
30(月)	小学生植物ふしぎ教室(～8月1日)		県中央植物園	中学3年生	076(493)5486
31(火)	公開講座「LEGOでロボットをつくろう」(～8月1日)		富山工業高等専門学校	小学生以上	0766(24)5104
2(木)	夏休み水の研究室		県下水道公社二上浄化センター(高岡市)	小5・6年生	0766(25)9139
3(金)	親子で体験 夢づくり・ものづくり～親子で野鳥観察と巣箱づくり～(～5日)		高岡短期大学	小学生以上	076(433)9933
4(土)	手作り工作コーナー(～5日)		北陸電力エネルギー科学館(ワンダーラボ)	小学生以上	076(433)9933
	ふれあいガラス教室(～5日)		北陸電力エネルギー科学館(ワンダーラボ)	小3年以上	076(444)3339 (県国際・日本海政策課)
5(日)	おもしろ科学工作教室		富山商船高等専門学校	高校生	076(479)1078(水橋高校)
	富山商船高専 市民公開講座(講演と体験航海)		富山商船高等専門学校	一般	076(466)4187
9(水)	高等学校日本海学講座「河川水と富山湾沿岸部の富栄養化」		県立大学	中学生	076(493)5486
11(土)	第8回「おもしろ科学実験 in 富山」(～12日)		北陸電力エネルギー科学館(ワンダーラボ)	中学柔道部員・希望者	076(493)5486 (富山工業高等専門学校)
19(日)	電子顕微鏡で植物を観察しよう		県中央植物園	小3年以上	0765(57)0610
21(火)	公開講座「微生物を知ろう」		富山工業高等専門学校	幼稚園年長、小1・2年生	076(493)5486
22(水)	公開講座「技のしくみと力学」(～25日)		県富山武道館		
25(土)	バードモビルを作ろう		黒部市吉田科学館		
28(火)	公開講座「化学で遊ぼう」		富山工業高等専門学校		

※行事によっては、事前申込の必要なものもありますので、それぞれの問合せ先に確認してください。

●特集についての問合せ・意見は
県庁商工企画課まで
☎076(444)3245

うか。
しろさに触れてみてはいかがでし
な行事に参加して、科学技術のお
皆さんぜひ、この機会にいろん
実していきます。
身近で科学技術に親しめる機会を充
もたちの科学する心を醸成するため
なるでしょう。県では今後も、子
しい知恵と技術が求められる時代と
これからの時代、今まで以上に新
行っています。

知恵と技術が求められる時代
に向けて

県では、科学技術週間の期間以
外でも、県立大学の教員や県立試験
研究機関の研究員が小・中・高等学
校に出向き、わかりやすく科学技術
の仕組みなどを紹介する「きらめき
エンジニア事業」や、サイエンスカ
ー(様々な科学実験機材を積んだバ
ス)が県内の小学校を巡回する「移
動科学教室」などを行っています。
さらに、「こどもみらい館(小杉町)」で
は、さまざまな遊びを通じて、子ども
たちの創造性をはぐくむ取り組みを
行っています。



昨年実施された実験の様子。電気を通さない物質を液体窒素の中に入れると、電気を通すようになる実験に子どもたちも興味津々。

県立大学では、平成八年から大
学の施設を開放し、親子で楽しめ
る様々な科学実験や大学内の探検
を通じて、科学のおもしろさに触
れる「ダ・ヴィンチ祭」を開催して
います。今年も親子で楽しめる催
しが盛りだくさんです。

■開催日 八月四日(土)
■場所 県立大学(小杉町黒河)
■主な実験
果物を使って発光させる「フルーツ電池」、飛行機の飛行の仕組みを探る「飛行機はなぜ飛べるんだらう?」、日常生活の中で気軽にできる「水を使つた科学マジック」など

■問合せ／県立大学事務局
☎0766(56)7500
(内線230)



夏休み子供科学研究室
県立試験研究機関と県立大学では、子どもたちの夏休み期間中に研究機関の特色を生かし、バイオテクノロジーなど先端技術等に触れる体験型の実験教室を開催しています。今年も、十二機関で十六の楽しい研究室を開催します。

昨年開催された夏休み子供科学研究室

- ①いろいろな米をさわって、味わってみよう(県農業技術センター農業試験場)
- ②身近な環境を調べてみよう(県環境科学センター)
- ③牛を科学してみよう(県畜産試験場)
- ④手の模型を作ろう(県立大学)

夏休み子供科学研究室 行事一覧

曜日	行事名	場所	対象	定員	募集締切	問合せ先
7月	25(水) ハーブを挿し木で増やしてみよう(1日目) [1日目参加の人のみ2日目に参加(8/10)]	県薬用植物指導センター(上市町)	小6～中2年生	15人	7/16	076(472)0801
	26(木) かまぼこについて調べてみよう 「丘の夢牧場」を探索してみよう	県食品研究所(富山市) 県畜産試験場(婦中町)	小4～中学生 小5～中学生	15人 20人	7/11 7/16	076(429)5400 076(469)5921
	27(金) イネを守るもの、イネをやっつけるもの さかなの透明標本を作ってみよう	県農業技術センター農業試験場(富山市) 県水産試験場(滑川市)	小5・6年生 小5・6年生	20人 15人	7/16 7/13	076(429)5249 076(475)0036
	29(日) 血圧の不思議	とやま健康パーク(富山市)	小5・6年生(保護者同伴)	12組	7/23	076(428)0830
	31(火) 身のまわりの細菌について調べてみよう(1日目) [1日目参加の人のみ2日目に参加(8/1)]	県衛生研究所(小杉町)	中学生	8人	7/19	0766(56)5506
8月	1(水) 低い温度の世界 デザイン制作教室「オリジナルアクセサリを作ろう」	県工業技術センター生活工学研究所(福野町) 県総合デザインセンター(高岡市)	小5～中学生 小～中学生	約20人 15人	7/25 7/19	0763(22)2141 0766(62)0510
	3(金) 木材と水のふしぎ実験室	県林業技術センター(小杉町)	小4～6年生(保護者同伴)	30人	7/25	0765(22)0185
	4(土) びよんびよんボールを作ろう チカチカ光る簡単電子回路 君の手の模型を作ろう	県立大学(小杉町) 県立大学(小杉町) 県立大学(小杉町)	小4～6年生 小4～6年生 小学生	60人 30組 40人	7/27 7/27 7/27	0766(56)7500 0766(56)7500 0766(56)7500
	7(火) 電子の目で花を観てみよう!	県農業技術センター野菜花き試験場(砺波市)	小4～6年生(保護者同伴)	15組	7/27	0763(32)2259
	9(木) 身近な環境をしらべてみよう	県環境科学センター(小杉町)	小4～6年生(保護者同伴)	20組	7/25	0766(56)2835

※参加費は、いずれも無料です。申込多数の場合は抽選になることがあります。

「利賀サマー・アーツ・プログラム2001」（7月30日～9月上旬） ※各事業の日程等の詳細は7月上旬に決まります。

主な事業内容

事業名	内 容	チケット発売日・料金
利賀演出家コンクール	21世紀の舞台芸術をリードする人材を発掘し、その活動を支援する日本で初めての演出家のコンクール	全演目共通パス 2,000円
利 賀 演 劇 塾	演劇全般にわたる講義、俳優訓練法スズキ・メソッドの実践（約2週間）	参加費35,000円
利 賀 会 議 21	21世紀の日本と世界の文明・文化についての各界の第一人者による討論会	1,500円
舞 台 公 演	「世界の果てからこんにちは」 演出：鈴木忠志、出演：SCOT 利賀でしか見られない壮大な仕掛け花火で野外劇場を祝宴空間に変貌させる伝説の名作 ■8月11日（土）午後8:30開演 ■8月25日（土）午後8:30開演	7月19日（土）予約開始 5,000円
そ の 他	大学の合宿や高校生の演劇講習会の実施	—



スズキ・メソッドは、鈴木忠志氏の考案による舞台俳優の訓練法。演技の基本である呼吸と下半身への集中力を養う。

利賀フェスティバルは、昭和五十七年の第一回から平成十一年の第十八回までを通じて、毎年夏に開催される世界第一線の演劇やダンスが上演される場所として、世界中の芸術家たちに愛され、この十八年間に十八ヶ国、百五十四団体が参加し、延べ十五万人の観客を魅了してきました。昨年からは「利賀フェスティバル」に替わる事業として「利賀サマー・アーツ・プログラム」がスタートしました。この事業は、これまでの演劇やダンスなどの上演だけでなく、舞台芸術のよりよい環境づくりや人材の育成・発掘という観点から、複数の事業を組み合わせたもので約一ヶ月間にわたり実施します。

「BeSeTo（ベセト）演劇祭」とは、平成六年に日本、中国、韓国の演劇人によってスタートした三ヶ国共同の演劇祭です。第一回のソウル開催から東京、北京と三都市を二巡し、第八回目となる今回は、開催場所を初めて地方にも広げ、東京のほか、利賀と静岡でも開催することになりました。

文化的な相互影響や異質性を確認しつつ、三ヶ国の芸術家が共同作業することにより、芸術を通じた国際理解への大きな成果を挙げています。今回は、利賀芸術公園の各劇場で、中国、韓国のほかインドなどからの参加を得て、最先端の舞台芸術が競演します。



昨年実施した演出家コンクールの様子。今年も27作品の上演が予定されている。



平成6年に完成した新利賀山房。合掌造りの建物を利用し、目の前まで迫る舞台から役者の息遣いが聞こえるほどの臨場感がある。

（注）BeSeTo（ベセト）演劇祭
Beijing（北京）、Seoul（ソウル）、Tokyo（東京）の頭文字二つを略したものの。利賀では、八月二十五日から九月十五日まで開催する予定。

「演劇の利賀」は、演劇フェスティバルブームの草分け的存在として、国際的に優れた舞台芸術を紹介する先駆的な役割を果たしてきました。今後も人材育成・交流などの新しい試みを加えながら、「演劇の利賀」の伝統を守り、舞台芸術の拠点として二十一世紀に向けてさらなる発展に努めていきます。

● 問合せ・意見は、
（財）舞台芸術財団演劇人会議
東京事務所
☎ 03（3951）4843
富山県利賀芸術公園
☎ 0763（68）2028

“演劇の利賀” 21世紀への飛躍に向けて

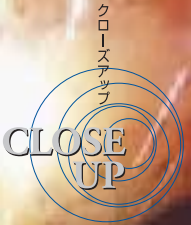
～今年も利賀が熱い～

利賀村にある富山県利賀芸術公園は、日本最大の合掌造りの劇場や野外劇場など、演劇を中心とした芸術複合施設により構成され、その活動は世界的に有名です。21世紀を迎えた今年も「利賀・新緑（はるの）フェスティバル2001」など、さまざまなイベントが開催されており、今夏には「利賀サマー・アーツ・プログラム」や「BeSeTo（ベセト）演劇祭」が開催されます。



「利賀フェスティバルから「利賀サマー・アーツ・プログラム」へ」
利賀村は、世界演劇祭「利賀フェスティバル」の開催などにより、「演劇の利賀」として世界中から注目を集めるようになりました。

きっかけは、昭和五十一年に早稲田小劇場（鈴木忠志主宰 現SCOT）が本拠地を東京から利賀村に移して活動を始めたことにさかのぼります。一つの劇団の舞台芸術活動が行政を動かす、利賀フェスティバルの開催へとつながっていった全国でも珍しい例といえます。



県立近代美術館

1981年7月、置県100年記念事業の一環として開館。20世紀美術の流れを展望するとともに、郷土美術を発展させることを基本姿勢としている。収集・展示・普及・調査研究の各活動を行い、現在ポスター約8,000点、絵画他約2,200点を収蔵している。

開館時間／午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
常設展示観覧料／
一般200円、高・大160円、小・中100円
※次の場合は常設展示の観覧料は無料になります。
(詳しくは、美術館へお問い合わせください)
○第2・第4土曜日の児童・生徒の観覧
○福祉施設の入所者、各種福祉関係の手帳をお持ちの方とその付添者の観覧 など

休 館 日／月曜日、祝日の翌日(月曜日が祝日のときは火曜日)、年末年始

●次回の企画展
第8回現代芸術祭「瀧口修造の造形的実験」
7月19日(木)～9月24日(月・休)
一般700円、高・大500円、小・中350円
(常設展示の観覧料は無料になります)

問 合 せ／☎076(421)7111
ホームページ／<http://www.pref.toyama.jp/branches/3042/3042.htm>

- バスで
富山駅前から地鉄バスで⑨⑩⑪のりば
西中野口下車 徒歩2分
- 市内電車で
富山駅前から南富山行き 小泉町下車
徒歩約10分
- 自家用車で
北陸自動車道富山ICから約10分



ふるさとギャラリー(太閤山ランド内)

「びじゅつ探検一家族でみよう 森と動物」
9月16日(日)まで
開館時間／午前9時30分～午後5時
(入場は午後4時30分まで)
観 覧 料／無料
休 館 日／太閤山ランドの休園日(原則として火曜日、祝日の翌日、年末年始)
※夏期プール期間は無休
駐 車 料／(太閤山ランド駐車場)大型600円、普通380円



太閤山ランドふるさとパレスの中にある「ふるさとギャラリー」。



県総合デザインセンターと連携し、近代美術館の豊富な椅子コレクションを紹介している(企画展を年1～2回開催)。



県内の小・中学校の子どもたちが企画展示室を自由に使い、共同で作品を創作する「トライ・アート」(年1回開催)。



ふるさとギャラリーでは、可動式パネルを使い、見せ方にも工夫がされている。2階バルコニーには、立体造形も展示。



近代美術館の収蔵作品を県内の小・中学校で展示・紹介する「学校一日美術館」。学芸員から説明を受けた後、作品の感想を話し合う子どもたち。



1階企画展示室では、「富山国際現代美術展」「世界ポスタートリエンナーレトヤマ」など、世界的視野にたった企画展も継続して開催されている。近代美術館のシンボルともいえるドームから光が注ぐ。



大人も子どもも見れば楽しいのがアート。常設展示では、ボランティアによる解説も行っている。



鑑賞のあとはお茶を飲んでゆっくりとしたひとときを。喫茶ラウンジからは城南公園の緑が心地よい。



2階は常設展示「20世紀美術の流れ」。20世紀初めから今日までたどってきた美術の流れを6つのコーナーにより構成している。



作品を解説した鑑賞カード。大人用と子ども用の2種類が用意されており、作品の理解を深めてくれる。

モダンアートと出会う楽しさが、もっと広がる、もっと高まる。

誰もが身近に親しめる「開かれた美術館」へ

県立近代美術館 & ふるさとギャラリー

二十世紀が生んだアートの世界へ

富山市西中野町にある城南公園の緑に映える近代美術館。ここは全国でも特色ある美術館のひとつとして高い評価を受けている。

まず、常設展示を見てみよう。ピカソ、シャガール、ミロなど、ほとんどの人が知っているような二十世紀を代表する美術家の作品に出会える。「二十世紀美術の流れ」というタイトルの通り、時代を追って見ていくことができる。また、年に四回展示替えが行われるので、以前に見たという人にも新しい出会いがあるはずだ。

企画展示では、年に六～七回、世界・日本・郷土の視点から展開される多面的な展示が行われる。常設展示が縦軸なら企画展示は断面を見せる横軸といえる。子どもたちが参加できる展覧会やイベントも開催されている。

また、ポスターや椅子などのコレクションが展示されている二階ロビーや、ビデオブース、図書閲覧室、喫茶ラウンジなどは、入場無料となっているので、気軽に立ち寄ってみたい。

もうひとつの近代美術館“

今年三月、太閤山ランドのふるさとパレス内に「ふるさとギャラリー」がオープンした。これは、県民に開かれた美術館をめざす近代美術館が、収蔵作品を中心として年三回の企画展を行うもの。郷土に関するものや子どもたちに気軽に親しんでもらえるものなど、多様なテーマで開催される。優れた作品を見ることは、心や感性を豊かにしてくれる。子どもと一緒に自然と美術に触れる一日を過ごすのもいい。

また、子どもたちにとってうれしいのが「学校一日美術館」。県内の小中学校などを会場として、美術館の収蔵作品を展示するもので、子どもたちだけでなく、地域の人々も来場し、アートを楽しんでいる。

今年七月、二十周年を迎える近代美術館は、本県出身の詩人・美術評論家である瀧口修造の作品を紹介する記念展を開催する。同時に入善町の発電所美術館や県民会館でも同氏をめぐる企画展を行う。このように県内の美術館等で近代美術館の収蔵作品に親しめる企画が年間十一回予定されている。二十一世紀を迎えてアートがより身近になり、楽しみ方も増えてきそうだ。

心がひとつに燃え上がる 熱い祭りで小矢部をアピール！



「源平火牛まつり2000」実行委員長

やしき よしのぶ
屋敷 吉信さん

1962年生まれ 小矢部市在住

7月27・28日に小矢部市で開催される「源平火牛まつり」が人気を呼び、昨年は2万人の観客が詰めかけた。そして、地域の活性化に大きく貢献したイベントを讃える「第5回ふるさとイベント大賞」部門賞(祭り・スポーツ部門)を受賞するという栄誉にも輝いた。屋敷吉信さん(38歳)は、この小矢部の祭りを一気に盛り上げた火牛の計レースを発案した立役者の一人である。

街を疾走する巨大な火牛

「源平火牛まつり」が受賞した「ふるさとイベント大賞」は(財)地域活性化センターと全国五十八の新聞社が制定するもので、今回は、全国からエントリーした百八十三のイベントのなかから、九イベントに大賞と各部門賞が贈られた。祭り・スポーツ部門賞に輝いた「源平火牛まつり」は、祭りの目玉である「火牛の計レース」で高い評価を受けた。これは、高さ約二・五メートル、重さ約五百四十キロのわら製の牛を、四人が一組となつて引き、途中の障害物をくぐり抜けながら、往復二百メートルのタイムを競うダイナミックな競技。石動駅前商店街を、ホラ貝を台図に、角にたいまつを付けた巨大な牛が猛スピードで駆け行く迫力は圧巻だ。



火牛をつくるメンバーたち。鉄のフレームに何重にもわらを巻いて完成させる。

血が騒ぐ、俺たちの祭りに

「誰もが参加できる祭り、血が騒ぐ激しい祭り、そして小矢部でしかできない祭りが欲しかったんです」そんな思いから、屋敷さんたち実行委員が目に向けたのが小矢部の歴史。俱利伽羅峠の源平合戦で源義仲が仕掛けた奇策「火牛の計」の故事を踏まえたものができないかと、このレースは発案された。

しかし、実際に牛を製作するとなると、「どうやればいいかわからない。見よう見まねで作った最初の牛は馬みたいな顔でした」と苦笑いする屋敷さん。それをリヤカーに載せて走らせるといふ素朴なものだったが、面白くなりそうな手ごたえを感じたメンバーたちは、昨年、鉄骨枠組みの牛づくりにも本格的に取り組んだ。

「完成したのが祭りの二日前。約七十日間かかりましたが、その過程で仲間意識が育ち、俺たちが作った牛だぞ、俺たちの祭りだぞという気持ち芽生えてきましたね」

夢は全国遠征

二回目にして、三十チーム以上が名乗りを上げるほどの盛り上がりを見せた。今年はさらにチーム数

を増やし、一般の部四十チームと子ども部の二十チームで、熱いレースが展開される。

屋敷さんは今年、新しい発想を持ったバイタリティーあふれる若手に実行委員長をバトンタッチしたが、祭りへの誇りと期待は人一倍強い。

「岸和田といえはだんじり、のようには、小矢部といえは火牛、となるまでにしたいですね。そうすれば、小矢部の名前や文化、桜町遺跡やメルヘン建築といった見どころをもっと知ってもらえますから」

「源平火牛まつり」をきっかけに、生まれ育った小矢部を全国にアピールしたいという屋敷さん。将来は、全国にある「源義仲復権の会」と交流し、各地に火牛の計レースを遠征させるといふ大きな夢も描いている。



たいまつを付けて疾走する、早さとテクニックが求められる迫力のレース。火牛の計レースへの参加については、小矢部市商工振興課(☎0766(67)1760)まで。

平成13年度富山県職員・警察官採用試験のお知らせ

試験名	試験区分	受付期間	日程等
中級 (短大卒以上)	一般事務、保育士、 臨床検査技師、農業土木、 林業、学校栄養職員	8月10日(金) ～8月29日(水)	1次試験 9月23日(日) 会場/富山高等学校
初級 (高校卒程度)	一般事務、学校事務、 警察事務、 少年警察補導員		2次試験 10月下旬～11月上旬 合格発表 11月16日(予定)
警察官 (大学卒を除く)	男性警察官 女性警察官	7月23日(月) ～8月15日(水)	1次試験 9月16日(日) 会場/富山中部高等学校
			2次試験 11月上旬 合格発表 11月16日(予定)

※受験案内・申込用紙は、県庁、
県民相談室(高岡・魚津・砺
波総合庁舎内)で配布してい
ます。郵送での入手方法に
ついては、下記の問合せ先ま
でおたずねください。

(警察官採用試験受験案内
は、県警本部、県内の警察
署・交番・駐在所でも配布し
ています。)

受験資格は職種によって異なります。詳しくは人事委員会事務局の
ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.toyama.jp/sections/0300/0300.htm>

●問合せ 県人事委員会事務局任用課

☎ 076(444)2166



平成13年度「うるおい環境とやま賞」の募集

うるおいある環境づくりを進めるため、心に「うるおいやゆ
とりを与える景観」を県民の皆さんから募集し、特に優れた
ものを顕彰しています。

対 象 「ゆとり」や「うるおい」を感じる県内の建造物や施
設などによって形成される景観で、次のいずれか
に該当するもの

- 地域の魅力を創出し、または地域のシンボルと
なっているもの
- 地域住民等の創意工夫や努力によって魅力が創
出されているもの

募集締切 8月17日(金)

応募方法 各市町村の窓口などで配布されている「応募票」に
必要事項を記載のうえ、推薦する施設がある市町
村の企画担当課、または直接、県庁生活文化課ま
でご応募ください。

※電子メールによる応募も受け付けています。
seikatsubunka3@pref.toyama.jp

●問合せ 県庁生活文化課 ☎ 076(444)9616

第8回Uターンフェア・イン・とやまの開催

県内の企業へUターン就職を希望される方々に県内企業と
直接面談できる場を提供するため、面接会を開催します。

日 時 8月14日(火) 午後1時～4時30分

会 場 テクノホール

参加企業 約100社

対 象 県内の企業へ就職を希望する社会人及び来春大学
等卒業予定者

内 容 ○企業の人事担当者との個別面談による採用条件
等の説明・面接

○ハローワーク職員による職業相談、Uターン求
職登録、職業能力開発についての相談

○住宅情報、教育情報、生活関連情報の提供

※求職者は、事前申込みの必要はありません。

※参加を希望される企業は、7月18日(水)までに最寄りのハローワー
クへお申し込みください。

●問合せ 最寄りのハローワーク

または県庁労働雇用課 ☎ 076(444)8897

平成13年度黒部ルート見学会の参加者募集

黒部峡谷鉄道の樺平から黒部ダムまでを結ぶ黒部ルート見
学会の参加者を募集しています。

対 象 小学校5年生以上の健康な方
(小学生の場合は保護者同伴)

実 施 日 8月23日～11月29日の木曜日(10月18日を
除く)と9月26日、10月31日の計16回

募集締切 実施日の7週前の水曜日

コ ー ス 樺平からと黒部ダムからの2コース

定 員 両コースとも1回につき30人

参 加 費 無料(ただし、集合場所まで及び解散場所からの
交通費は別途必要)

※詳しくは、市役所、町村役場、県庁、関西電力県内事業所に備え付けの
「見学会のご案内」をご覧ください。

●問合せ 黒部ルート見学公募委員会事務局

☎ 076(442)8263

すまいアップセンター相談所開設

住まいに関するさまざまな問題に対し、無料で相談に応じ
ます。

相 談 例 ○シックハウス対策について知りたい。

○住宅融資・補助について聞いてみたい。

○今の家をバリアフリー化する方法は？

○雪や地震に強い家をつくりたい。

○住宅性能評価とは？

相談場所 (財)富山県建築住宅センター

富山市舟橋北町4-19 森林水産会館2F

☎ 076(439)0248

相談時間 午前9時～午後5時(土・日・祝を除く)

●問合せ 県庁建築住宅課 ☎ 076(444)3356

編集部から

▼「県広報とやま」の今後の発行計画は次のとおりです。これからも皆様のご愛読をお願いします。

- ◆8月号【各世帯配布版】
8月上旬の朝刊に折り込み
- ◆9月号【通常版】
- ◆10月号【通常版】
- ◆11・12月合併号【通常版】
11月1日に発行
- ◆1月号【各世帯配布版】
1月上旬の朝刊に折り込み
- ◆2月号【通常版】
- ◆3月号【通常版】
- ◆4月号【各世帯配布版】
3月下旬の朝刊に折り込み

※通常版は原則として毎月1日の発行です。計画は変更になる場合があります。

県広報とやまの各世帯配布版(年3回発行)は、新聞折込で各家庭にお届けします。また、通常版(年7回発行)は、次の場所で無料配布するほか、郵送による定期購読も受け付けています。

主な配布箇所
県庁、県刊行物センター(県民会館1階)、県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、主なショッピングセンター、いきいきKAN(富山駅前CIC5階)、JR駅(一部)、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

定期購読の申込方法
郵便番号・住所・氏名・電話番号・購読回数(通常版の回数)を明記し、郵送料として1回当たり160円分の切手を同封のうえお申し込みください。

※購読期間中は、通常版・各世帯配布版の両方を郵送しますが、郵送料の負担は通常版の分だけで結構です。
(例:最新号から1年間購読を希望する場合は、160円×7回=1,120円になります。)

あて先
〒930-8501(住所不要) 富山県庁広報課
「県広報とやま」定期購読係

県政ミニガイド

県のスポーツ施設が利用しやすくなりました

利用者の利便性の向上を図るため、県のスポーツ施設を貸し切りで使用する際の利用時間、面の利用区分の設定が平成13年4月から改正されました。

1 利用時間区分の変更

年齢や能力などに応じたきめ細やかな利用ができるように、時間区分を1時間単位に設定しました。

対象施設 県総合体育センター、県西部体育センター、県高岡総合プール、県営富山武道館、県営高岡武道館、県営富山弓道場

時間設定 **旧** 午前、午後、1日 **新** 1時間単位

2 アリーナ、プールの面の利用区分の変更

競技種目、利用人数に応じてアリーナを有効に活用するため、利用できる面区分をより細かく設定しました。また、プールを入場無料の大会で使用する場合、1コースから利用できるようになりました。

施設	設備	利用区分
県総合体育センター 県西部体育センター	大アリーナ	・全面 ・1/2面(バスケットボール1面分) ・1/3面(バレーボール1面分) ・1/10面(バドミントン1面分、卓球1面分) 追加
	中アリーナ	・全面 ・1/2面(バスケットボール1面分) ・1/3面(バレーボール1面分) ・1/6面(バドミントン1面分、卓球1面分) 追加
県総合体育センター	50 m 温水プール	・入場有料の大会 全面 ・入場無料の大会 全面
県高岡総合プール	50mプール 25m温水プール	1コース 追加

● 問合せ 県教育委員会スポーツ課 ☎ 076(444)3460

とやまの情報お伝えします!【7月の県政番組】 ※タイトルは、いずれも仮題です。

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ
毎週日曜 11:00~11:30

- 1日 水環境を守る下水道
- 8日 科学技術に親しもう!
- 15日 ふるさと探訪 ~庄川町~
- 22日 雇用の安定をめざして
- 29日 在宅福祉サービスの充実

とやまDASH! 富山テレビ
フオーカス・イン 毎週日曜 9:00~9:30

- 1日 ボランティア活動
- 8日 富山のコレクション
- 15日 黒部川
- 29日 夏休み大研究

※7月22日は放送がありません。

富山が元氣。 チューリップテレビ
見たモン勝ち2 第4日曜 10:00~10:52

22日 見たモン流自由研究のススメ ~動植物特集~

とやま県間録 FMとやま
毎週月曜~木曜 11:30~11:40
毎週土曜 11:30~11:55

このほか、新聞広報やインターネットでも県政情報をお伝えしています。

■新聞広報「県からのお知らせ」
7月14・28日の朝刊各紙に掲載予定
■富山県ホームページ
<http://www.pref.toyama.jp/>

県政クイズ ご応募お待ちしております。

県の新しい総合計画「富山県民新世紀計画」がスタートしました。この計画の基本目標は何でしょうか。

「水と緑といのちが輝く ○○とやま」
とお答えください。

→答えは1ページにあります。

■応募方法

ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と、本誌の感想・入手方法を記載。

あて先/〒930-8501(住所不要)

富山県庁広報課「県広報とやま7月号」クイズ係

締切/8月3日(金)(消印有効)

正解者の中から10名の方に、9・10ページで紹介した「県立近代美術館」のオリジナル筆箋(収蔵作品解説付き)2冊をプレゼントします。

8月号(各世帯配布版)は8月上旬の朝刊各紙に折り込んでお届けする予定です。

中央植物園

婦中町上善田42
☎076(466)4187

夏休み特別展「植物と昆虫」
【7/20(祝)～8/15(水) 9:00～17:00】
無料

小学生植物ふしぎ教室
【7/30(月)～8/1(水) 10:00～16:00】
要申込 無料

夜の温室植物
【8/14(火)～15(水) 19:00～21:00】
夜間特別料金 一般 300円/小・中 150円

9:00～17:00
㊟木曜 一般 600円 小・中 300円

立山博物館

立山町戸崎寺93-1
☎076(481)1216

特別企画 雲上ファンタジー
「立山 宇宙の発見」
【7/21(土)・8/4(土)・11(土)】
いずれも1日2回(10:30～、13:00～)
「立山曼荼羅絵解き」を行い、先人の立山に
対する宇宙観や精神性を説明します。
定員約40名(先着順) 無料
会場/立山室堂平・室堂小屋南室
※直接会場までお越しください。

9:30～17:00
㊟月曜(8/13は開館)・祝日の翌日(7/21は開館)
一般 650円 高・大 400円 小・中 250円
※展示館・遙望館・まんだら遊苑の3施設セット券

県民公園太閤山ランド

小杉町黒河477-16
☎076(566)6116

プール開き
【7/14(土)～9/2(日)】 7/14(土)のみ10:00～
一般 1,230円/高 870円/小・中 370円/幼 120円

ふれあい農園・夏野菜収穫祭
【8/5(日) 10:00～13:00】
トウモロコシや枝豆などの収穫を楽しみ、
採れた野菜を使ってバーベキューをします。
参加費 大人 1,000円/小学生以下 500円

9:00～17:00(7/20(金)～8/31(金)は～18:00)
㊟火曜(プール期間中は無休)・祝日の翌日
入園無料(駐車料金は別途必要)

海王丸パーク

新湊市海王町8
☎076(832)5881

海王丸フェスティバル
【7/20(祝) 9:30～21:00】
各種ボートの体験乗船などを行います。

海王丸総帆展帆
【7/20(祝)・8/5(日)】
スターダストドリーミング in 海王丸パーク
「平家みちよ&メロン記念日」のハッピーライブ
【8/4(土) 17:30～】

入園自由
帆船海王丸は9:30～17:00(7/20～8/31は～18:00)
㊟月曜・祝日の翌日(7/21、8/13は乗船可能)
一般 400円 小・中 200円

自然博物館ねいの里

婦中町吉住1-11
☎076(469)5252

自然観察会
「有峰の自然探勝ーブナ林を訪ねるー」
【7/22(日) 8:00～16:00】
ブナ林やそこに居住する動物などを観察し、
ブナの特徴や動物の居住環境を考えながら
森林浴を楽しみます。
対象/小学生以上
参加費/実費負担(バス代と有料道路代など)
集合場所/いこいの村駐車場
定員30名 要申込

9:00～16:00
㊟火曜・祝日の翌日 入園無料

こどもみらい館

小杉町黒河太閤山ランド内
☎076(566)9000

おかげさまで満9才「バースデーゲームの集い」
【7/8(日) 12:30～、14:30～】
開館記念日を祝って、スタッフが繰り広げる
ゆかいなゲームを楽しめます。

「造形サファリパーク」
【7/20(祝)～9/2(日)】 材料費 100～300円
アフリカの草原に生きる動物たちをテーマに、
様々な素材を使った動物の制作やクイズなどを楽しめます。

9:30～17:00(7/20(祝)～8/31(金)は～18:00)
㊟火曜・第4水曜・祝日の翌日(7/23は閉館)
入館無料

情報工房

富山市高田527
☎076(444)7887

夏の子どもフェア
パソコンを使って、オリジナルTシャツ、肖像
写真、カレンダー作りなどの講座を行います。
【7/24(火)～27(金)】
午前の部 10:00～12:00
午後の部 13:30～15:30
【7/28(土)・29(日)】
10:00～15:30
対象/小・中学生(小学3年生以下は保護者同伴)
参加費/無料 要申込

9:30～17:00
㊟月曜・祝日の翌日 入館無料

とやま健康パーク

富山市友杉151
☎076(428)0809

健康医学講演会
【7/17(火) 13:30～15:00】 無料
「1・2・3で楽しく運動」
講師/片貝仁子(富山健康科学専門学校 専任講師)
【8/4(土) 13:30～15:00】 無料
「美と健康のセルフマッサージ」
講師/浅井隆彦(トレーナーズ・プロジェクト代表)

㊟月曜(8/13は開館)
健康スタジアム10:00～22:00(日・祝は～19:00)
1日 1,800円/3時間 1,500円/2時間 1,000円
生命科学館(展示場) 9:30～17:00 200円
屋外健康づくり施設 9:30～17:00 無料
※小・中学生は半額、幼児は無料です。

高岡文化ホール

高岡市市川園町13-1
☎0766(25)4141

中村紘子ピアノリサイタル
【7/15(日) 14:00～】
日本を代表するピアニスト、中村紘子さんが
繊細でダイナミックな演奏を披露します。
前売 5,000円(当日5,500円)
会場受付にて座席指定 当日13:00～

高岡ギャグ夏祭り2001
【8/12(日) 11:00～、15:00～】
東京、大阪のお笑い陣の中からよりすぐった
メンバーが、笑いの渦を巻き起こします。
出演/オール阪神・巨人、堺すむ、ちゃらんぼらん 他
前売 3,000円(当日3,500円) 全席自由

有峰青少年の家

大山町有峰
☎076(481)1758

「大自然の有峰と立山カルデラをもとめて」
【7/25(水)8:00～26(木)～16:00】 1泊2日
立山カルデラの現地体験学習会、立山カルデラ
砂防博物館の見学、イワナのつかみどり
とスターウォッチングを行います。
対象/小学3年生以上の家族、一般、グループ
参加費/2,500円
定員/40名 要申込

8:30～17:15
㊟月曜・祝日の翌日
日帰り利用料 90円
宿泊料 26歳以上 1,020円 25歳以下 670円 小・中 340円

県民小劇場オルビス

富山駅前マリエ7階
☎076(445)4531

「舞台芸術・芸能一発見ライブ in ORBIS」
太神楽っておもしろい!
【8/18(土) 18:30～】
主に「舞」と「曲芸」に分類される太神楽。今回は、
傘の上で茶碗などをのせて廻す「曲芸」を
中心に、一流の芸を披露します。
出演/鏡味仙之助・鏡味仙三郎
ボンボンブラザーズ
林家正楽 他
3,000円(前売・当日とも) 全席自由

県民共生センター

富山市湊入船町617
☎076(432)4500

男性生活講座(全4回)
【7/21(土) 10:00～13:00】
【8/4(土) 10:00～12:00】
【8/25(土) 10:00～13:00】
対象/県内在住の男性 定員20名 申込7/7(土)まで
※9/1は公開講座のため一般の方も受講できます。
公開講座「パパだからできる!」
【9/1(土) 13:30～15:30】
講師/鈴木光司(作家)
定員200名 要申込 8/18(土)まで
9:00～21:00(日曜～17:00)
図書室 9:00～20:00(日曜～17:00)
㊟月曜・祝日



とやま 音のある 風景

Vol.34

ダム湖にこだまする
オアズマンの掛け声
●細入村・大沢野町

風のなかを走る声に、
動きはひとつになって

国道41号を南へ行くと、深い峡谷が見えてくる。豊かに自然を残す神通峡の左岸が細入村、右岸が大沢野町。やがて神通川第二ダムが姿を見せると、深緑の水をたたえたダム湖と木々が織りなす風景となる。

湖面に浮かぶのは、幾艘ものボート。ボート競技が始まったイギリスでは、漕ぎ手のことを「オアズマン」と呼び、スポーツマンとして敬意が払われる。ダム湖には県漕艇場があり、中学から大学、実業団などに所属するオアズマンたちが毎日厳しい練習を重ねている。富山県のボート競技は全国でもトップレベルを誇り、昨年開催された2000年とやま国体でも、この漕艇場を舞台に数々の優勝を果たした。

ボートは、体力と持久力、そしてチームワークが求められる競技。フォア(四人)、エイト(八人)と、漕ぎ手が多くなればなるほど、リズムを合わせる必要がより重要になる。

「キャッチ、ロー。キャッチ、ロー」掛け声に合わせて、「キャッチでオール(櫂)を水に入れ、」ローで引く。全員の糸乱れぬ動きが、ボートをより速く走らせる。吹き抜ける風のなか、一体となって進むオアズマンたちを、峡谷はやさしく見守っている。

※県内50箇所の「とやまの音風景」を収録したCDは市町村図書館などでお聴きになれます。